

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 29 年度留学生受入推進事業
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 参加者報告書

2018 年 6 月 8 日

学生 情報	氏名 name	Khanjantuek Chutiwat
	出身国 country	タイ
	出身大学 university	Kasetsart University (カセサート大学)

1. 本プロジェクトへの応募から現在までの活動について簡単にまとめてください。

私は高校から今（大学生四年）まで日本語をずっと勉強しています。長い時間勉強していましたが、日本語能力は満足できる程度になりませんでした。そこで、日本に留学することにしました。幸い、「進取の精神」奨学金をもらえたおかげで、鹿児島における生活は心配がなくなりました。第一学期は日本語クラスしか取りませんでした。第二学期は日本語クラスだけでなく英語で学ぶ異文化理解クラスも取っています。

また、鹿児島で日本語を学んでいるだけでなく、タイに留学する日本人にタイ語を教えています。タイ語を教えてみて、タイ語はこんなに難しいとはじめて気が付きました。

日本に来る前は覚悟していましたが、やはり日本人と友達になるのは難しいです。何回も日本人と交流活動に参加していろいろなことを話したり、一緒に活動をしたりしてメール交換しましたが、その後、連絡を取りませんでした。しかし、留学生同士は意外と仲良しになりやすいです。中国人やインドネシアの留学生と友達になりました。

ところが、地域のおじいさんおばあさんはとても優しいです。私は鹿児島市外で民泊したことがあります。そのとき、地域の方にいろいろな伝統的な日本のことを教えてもらって、日本のことをもっと詳しくなり、とても感謝しています。

2. 本プロジェクトで行った地域活動について、参加者の視点から報告してください。

私は 2018 年 5 月 6 日に鹿児島県霧島市国分毛梨野集落ではじめてお茶摘みをしました。到着したときは雨が降っていました。その時の畑の景色は今でも目にやきついているぐらい、とてもきれいでした。機械を使ってお茶を作るのではなく、伝統的な作り方を体験しました。最初の手順から最後の手順まで、ずっと手で作りました。お茶のベテランとして優しいおじいさんたちに正しい作り方や鹿児島の方言を教えてもらって面白かったです。それに、岩船先生から地域の、昔から現代にかけての地形を教えてもらいました。神社とお墓の見学もしました。



3. まとめ（感想や今後の展望）

留学生生活はそろそろ終わります。帰国する前にもっと日本語、日本のことを勉強したいと思います。帰国した後、もう一年勉強して、卒業します。翻訳者や通訳者などの日本語に関係する仕事をしたいです。機会があったら、また、景色がよくて、きれいな鹿児島の街に来たいです。